



「Catch Ball キャッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住 所 : 〒014-0054 大仙市大曲金谷町 26-9

電話番号 : 0187-63-2257・Fax 0187-62-3434

(大嶋農場:Fax 兼用 0187-68-2381)

U R L : <http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp>

*農場便りに関するお問い合わせ農場経営部までご連絡下さい。

◆生物工学部門より

大農祭当日、生物工学部門では、三年生の課題研究の中間報告と、ランの展示を行いました。このランの展示は、来年東京で開催される世界ラン展日本大賞2013にも出品予定であり、ひと足早く、地域の皆様へのお披露目となりました。また、田沢湖の水の中性化の実演実験も行い、生物工学で取り組みを紹介しました。生物工学では研究・実験を実施し、地域の皆様のお役に立てるよう、今後とも引き続いてこれらの課題に取り組みたいと考えています。応援よろしくお願いします。

◆施設野菜部門より

施設野菜部門では、ホウレンソウ、コマツナ、ハダイコンなどの葉菜類の栽培をしています。先日の大農祭の農産物販売では沢山の来校者の方々に購入していただきました。ホウレンソウは販売開始まもなく完売しました。

◆食品加工部門より 大農ブドウ液原液 製造工程(①～④)

大農祭一般公開(十月二十一日)に向け、大農ブドウ液の製造に取り組んできました。ぶどう果汁は、原料に用いる品種によって、その色が大きく異なります。大農ブドウ液は秋田県南の品種キャンベルを原料に赤色濃色系のぶどう液です。600mlを500円で販売しております。煮詰めたブドウをそのまま手絞りした素朴なジュースです。



①破碎後煮詰める



②袋詰め(85℃)



③手絞り



④6ヵ月間保存(酒石酸沈殿)

◆露地野菜部門より

現在、ネギは今月下旬から十一月の収穫に向け、軟白部を作るための土寄せ作業が行われています。追肥を伴い3〜4回もします。キャベツやハクサイは結球が進み、葉が固くしまつたら収穫します。ブロッコリーはキャベツの仲間ですが、葉ではなく花のつぼみの部分を食するというのを知っていますか？



◆林業部門より

先日は多くの先生方に栗の渋川煮を御試食して頂き、ありがとうございます。アンケートにもご協力いただき、今後にも活用させていただきます。今日はギンナンとナメコの販売を計画しています。生徒を見かけたら声をかけてください。秋の味覚を楽しみたい時間は短い時間と限りがあります。是非早い者勝ちで賞味ください。また、トラクター練習場、シイタケ栽培場の隣の柿の実が大量につきました。渋を抜かないと食べることができませんが、どうぞ高枝切りばさみで収穫して食べてみてください。皆さんが普段食べる柿と違う品種ですので、一食の価値があるかもしれませんよ。

◆中家畜部門より

・このまま順調にいけば、十一月中旬には豚約三十頭を出荷できそうです。
・多くの生徒に糞尿を堆肥盤へ運搬するスクリーナーの除去作業を頑張ってもらいました。近々修理できそうですので、もう少しお手伝い下さい。頑張りに感謝します。

◆果樹部門より

十月二十一日大農祭が開催されました。恒例の農産物販売が第二体育館で行われました。たくさんのお客様がお見えになり、農産物・加工品を購入していただきました。果樹部門でもリンゴ（やたか）、ブドウ（スチューベン）、西洋ナシ（ラフランス）が販売され、完売となりました。ありがとうございます。来年も今年以上の品質になるよう栽培管理に努めていきます。



◆花卉部門より

いよいよシクラメンの季節到来です。まずはミニシクラメンがかわいい花を咲かせ始めています。温室前を通ったら、中を見てください。鮮やかな花の色が見えますよ。
今年はいつまでも暖かく、葉ボタンの色づきが悪かったのですが、ようやくこのごろ寒くなって色がきれいになってきました。家の中にはシクラメン、外には葉ボタンなどいかがでしょうか。

◆大家畜部門より

だいのうてるに病気があることがわかりました。今後種付けが難しいと判断し、残念ながら手放すことにしました。収穫感謝祭の時に農場長の高橋先生が話していたウシです。一番人懐っこく、愛嬌のあるウシでしたが仕方ありません。家畜はペットと違い生産性がなければいけないのです。

◆作物部門より

天候の関係で予定より若干遅れていた稲刈りですが、乾燥・調製作業と並行しながら二十四時間態勢で休みなく作業を進め、無事今年度分の出荷まで終了しました。
今後は後片付けと来年度の準備にすぐ取りかかります！

◆小家畜部門より

大農祭では、たくさんのお客様に卵を購入していただき、ありがとうございます。また、鶏の解体実習も始まりました。生徒は慣れない手つきながらも、一生懸命実習に取り組んでいきます。この実習によって、命の尊さや食べ物の大切さについて、改めて考えられます。日頃、何気なく食べている鶏肉にも当然のことながら命があるのです。食べ物を粗末にしないようにしましょう。

◆農場長より

十月二十三日から二十五日まで長野県で行われた農業クラブの全国大会に行ってきました。農業の勉強をする全国の生徒が一堂に集い勉強の成果を発表し合ったり、競技したり、また交流したりするものです。秋田県でも平成十五年に全国大会を開催し、おもてなしの心で感動を与えました。農業高校はひとつの学校内にとどまらず、多方面に視野を広げ、多くの生徒や地域の方々との交流ができる。ここが素晴らしいところだと思います。

大農生の皆さん、農業高校特有の農業クラブ活動をうまく利用していますか。大農の農業クラブ活動では取り組みや研究成果が認められ、全国最優秀賞に何度も輝いている名門校です。普通高校とは違い、生徒の頑張る場がたくさんある学校です。農業高校の特徴を今一度理解し、たくさんの方々の各種発表会、競技会、交流活動に参加し、視野を広げてもらいたいものです。

3年生がまもなく卒業を迎え、さまざまな役目を二年生にバトンタッチする時期がやってきました。農業クラブの役員改選もそのひとつです。たくさんの方々が役員に立候補して大農を盛り上げてもらいたいものです。多くの方が口にする「天下の大農」。その呼び声にふさわしい大農生でありたいものです。



編集後記

秋も深まり、日に日に寒さが厳しくなっています。今日この頃。学校内では、三年生の就職や進学が続々と決定している様子。進路が決定する度、職員室では笑顔の生徒の顔を見ることができ職員一同飲んでいきます。

ただ、人生の先輩からアドバイスをしますと、進路が決定した後の時間をどう使うかが大切です。卒業までのわずかしかな時間有意義に使い、何を学び、何を得るか、何をしたのかです。皆さんの一生の時間には限りがあるのです。

人生とは一生勉強であり、学ぶという事から逃れられません。学校の勉強も大切ですが、生きるには何か、働くとは何かを親や祖父母、先生達に聞いてみてください。きっと良きアドバイスをくれることでしょう。学校生活最後の思い出に校長先生とじっくり話してみるのも面白い時間の使い方ではないでしょうか。